

大学発技術を基に、新しい市場を切り開く製品を開発

株式会社ハセラボ

当社では、九州大学下田満哉教授らが開発した新規透析法（移流拡散透析法）の事業化を進めています。

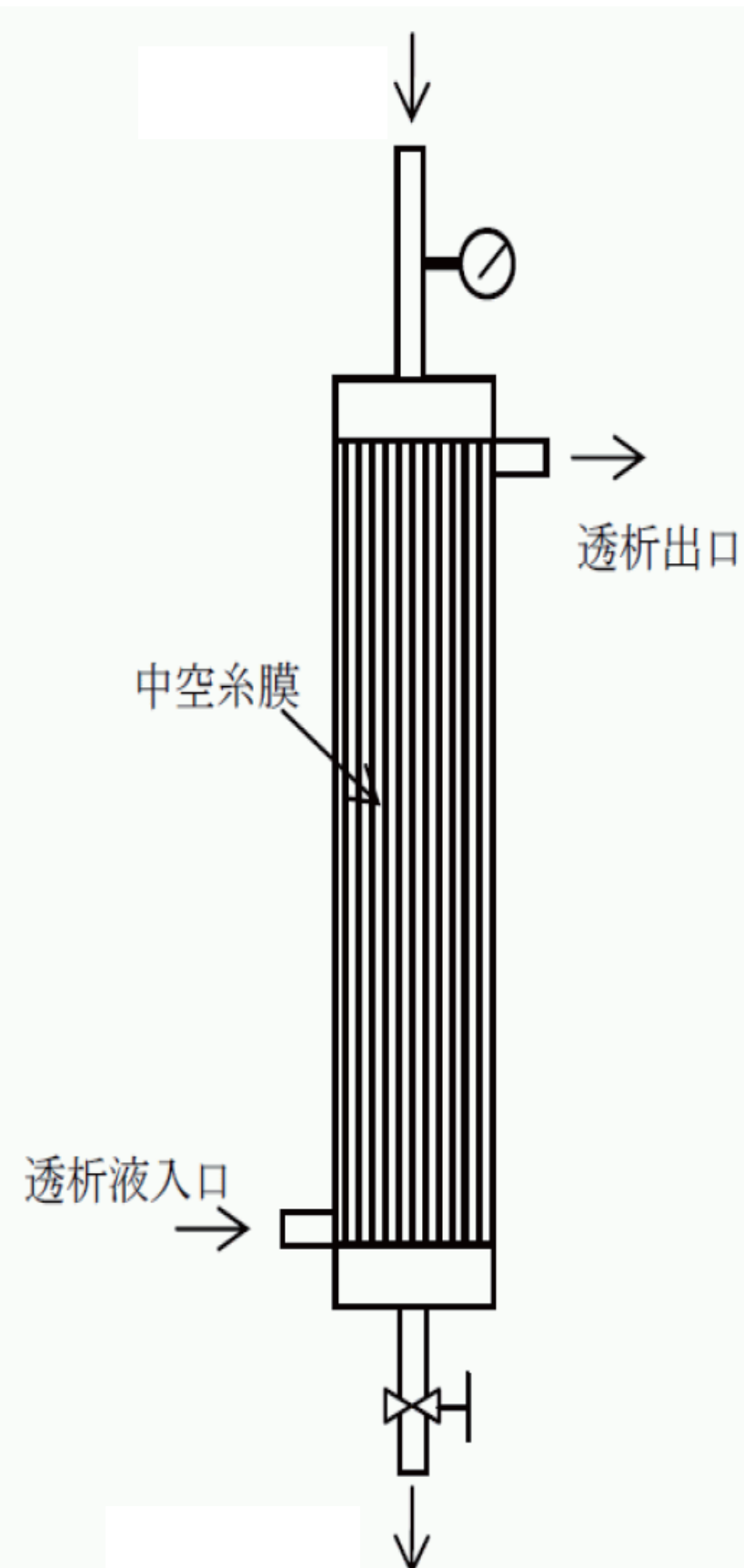
事業内容

1. 食品及び飲料の企画・製造・販売
2. 飲食に関連した研究及び技術開発
3. 飲食に関する情報の発信及びサービスの提供

研究内容

中空糸膜モジュール内の圧力及び流量を制御（圧力 <math>< 1 \text{ atm}</math>、浸透流速 = 0~50 mm/min）することで、透析膜の細孔内における溶媒の流速を調整します。有効成分の損失を効果的に抑制することが可能となり、風味の劣化が起こり難いという特徴があります。

図1. 新技術による透析膜モジュール



【本技術の利点】

- ・ 保持すべき溶質の損失を抑制
- ・ 膜表面の堆積汚れが減少
- ・ 装置および運転コストは安価

【本技術の応用分野】

- ・ アルコール飲料の成分調整（低アルコール飲料など）
- ・ 乳清中のナトリウム・カリウム低減
- ・ タンパク質の塩酸分解物の透析
- ・ エタノール発酵液からのエタノール回収

表1. 既存技術と新技術の比較

	分子選択性	膜汚れ	装置の複雑性	所要時間
イオン交換膜による電気透析法	△	△	△	▲
ナノ濾過膜による透析・濾過法	▲	×	○	△
新技術	○	○	○	○

会社概要

代表	代表取締役社長 橋本 憲一 代表取締役副社長 輿水 精一
本社所在地	京都市左京区吉田泉殿町 5-2 梁山泊内
設立年月日	2015年7月
電話番号	075-708-8570
URL	http://www.haselab.co.jp/